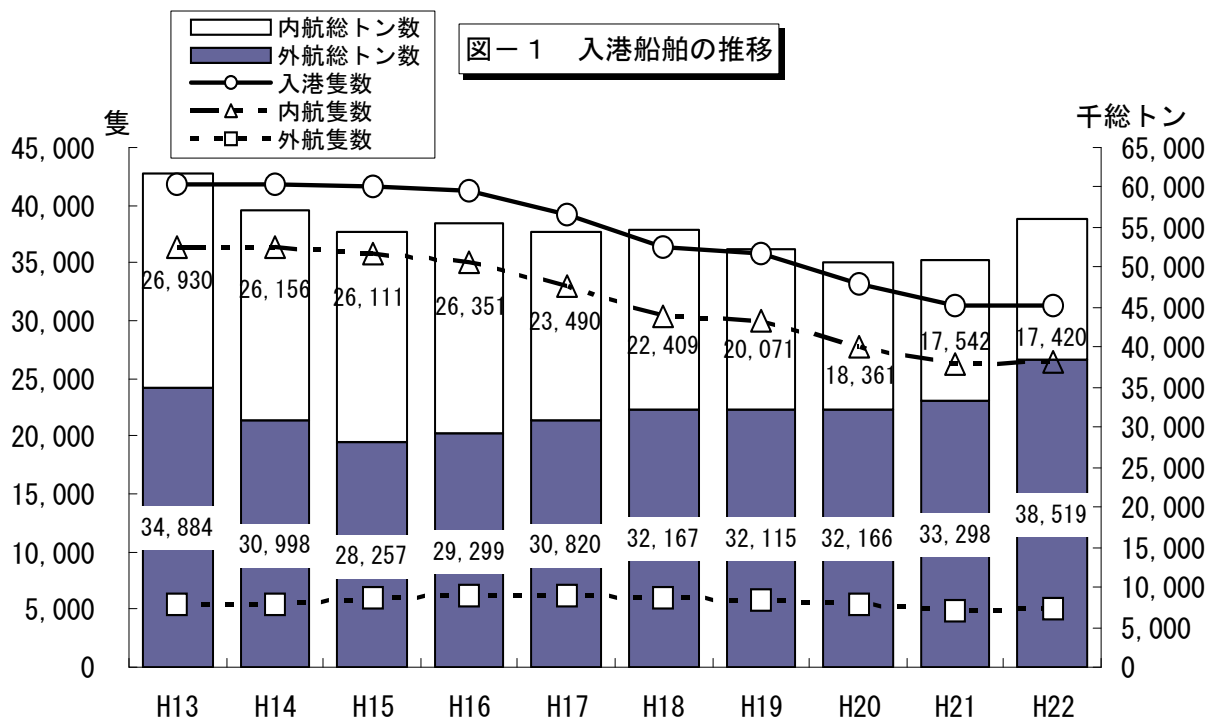


1. 入港船舶

入港船舶数は31,393隻（前年比 100.4%）・総トン数は5,594万総トン（同 110.0%）であった。これを外航別に見ると、外航は隻数 5,018隻（同 101.2%）・総トン数 3,852万総トン（同 115.7%）、内航は隻数 26,375隻（同 100.2%）・総トン数 1,742万総トン（同 99.3%）であった。（図－1、表－1 参照）



表－1 入港船舶の推移

(単位：隻、総トン)

区分	平成22年		平成21年		平成20年		平成19年		平成18年
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
外航隻数	5,018	101.2%	4,958	92.8%	5,345	92.6%	5,772	96.6%	5,975
外航総トン数	38,518,570	115.7%	33,297,945	103.5%	32,165,936	100.2%	32,114,852	99.8%	32,167,011
内航隻数	26,375	100.2%	26,319	94.8%	27,763	92.6%	29,968	98.5%	30,412
内航総トン数	17,419,558	99.3%	17,541,738	95.5%	18,360,835	91.5%	20,070,649	89.6%	22,408,515
総隻数	31,393	100.4%	31,277	94.5%	33,108	92.6%	35,740	98.2%	36,387
総トン数	55,938,128	110.0%	50,839,683	100.6%	50,526,771	96.8%	52,185,501	95.6%	54,575,526

2. 海上出入貨物

海上出入貨物量は、外国貿易 1,659 万トン（前年比 114.4%）、内国貿易 1,309 万トン（同 103.2%）であり、総貨物量は 2,968 万トン（同 109.2%）であった。出入別の割合及びその貨物量を見ると、輸移出は 33.0%・979 万トン、輸移入は 67.0%・1989 万トンとなっており、博多港が輸移入中心の港湾であることを示している。（図-2、表-2、表-3 参照）

図-2 海上出入貨物量の推移

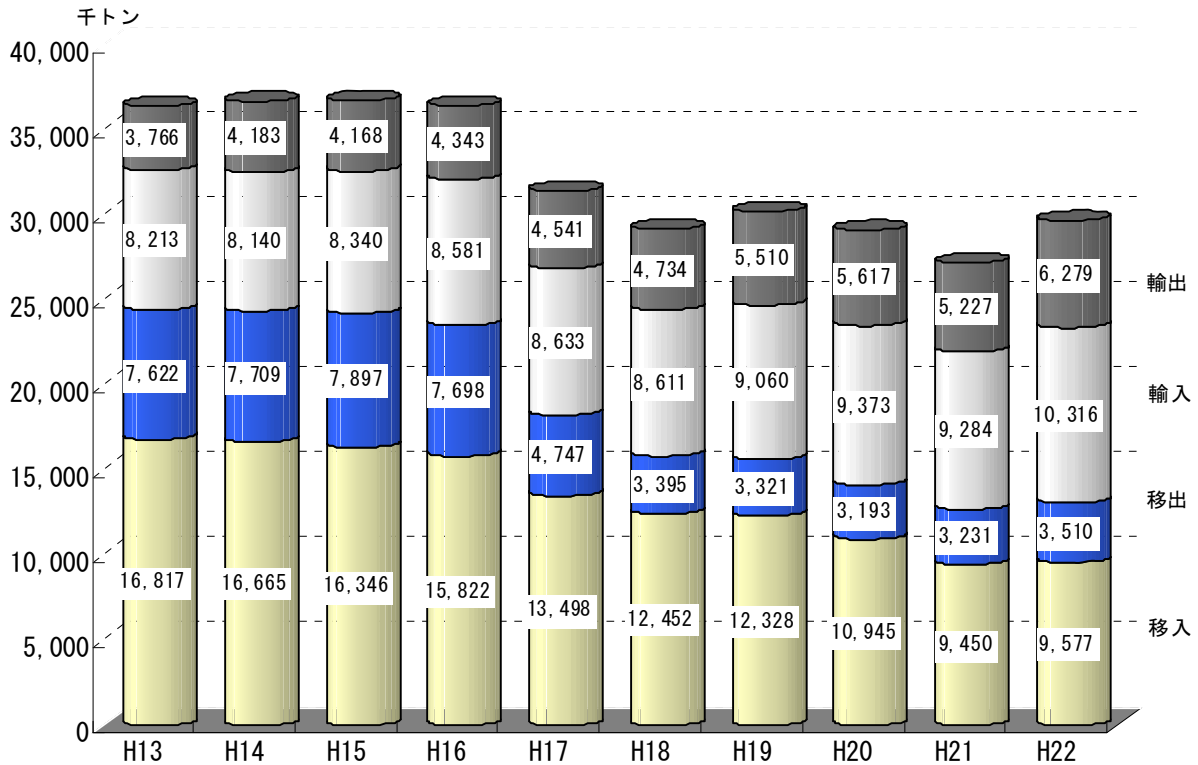


表-2 海上出入貨物量の推移

(単位: トン)

区分	平成22年		平成21年		平成20年		平成19年		平成18年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	
外国貿易	輸出	6,278,546	120.1%	5,226,504	93.0%	5,616,927	101.9%	5,509,580	116.4%	4,734,296
	輸入	10,316,339	111.1%	9,283,502	99.0%	9,373,026	103.5%	9,059,731	105.2%	8,611,082
	計	16,594,885	114.4%	14,510,006	96.8%	14,989,953	102.9%	14,569,311	109.2%	13,345,378
内国貿易	移出	3,509,562	108.6%	3,230,667	101.2%	3,192,656	96.1%	3,321,488	97.8%	3,394,870
	移入	9,576,798	101.3%	9,450,175	86.3%	10,944,944	88.8%	12,328,184	99.0%	12,452,324
	計	13,086,360	103.2%	12,680,842	89.7%	14,137,600	90.3%	15,649,672	98.8%	15,847,194
総数	輸移出	9,788,108	115.7%	8,457,171	96.0%	8,809,583	99.8%	8,831,068	108.6%	8,129,166
	輸移入	19,893,137	106.2%	18,733,677	92.2%	20,317,970	95.0%	21,387,915	101.5%	21,063,406
	計	29,681,245	109.2%	27,190,848	93.4%	29,127,553	96.4%	30,218,983	103.5%	29,192,572

※フェリー（自動車航送船）による航送車輛トン数は含まない。

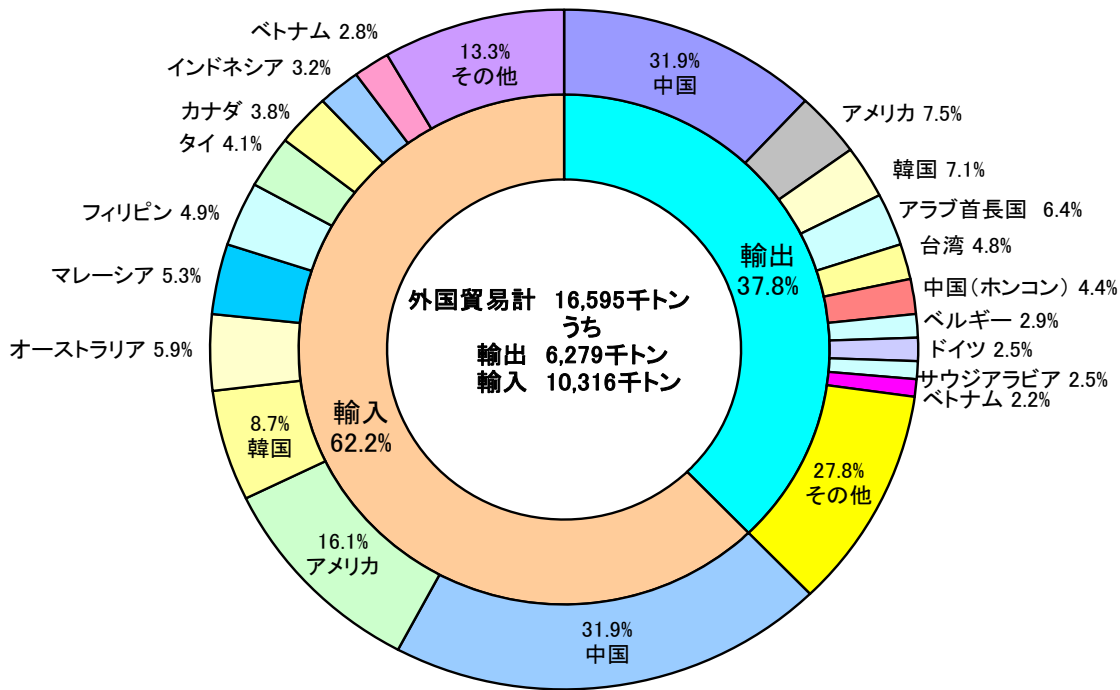
表-3 フェリー（自動車航送船）による航送車輛トン数の推移

(単位: トン)

区分	平成22年		平成21年		平成20年		平成19年		平成18年
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
移出	959,205	104.4%	919,185	93.3%	985,265	95.9%	1,027,600	40.8%	2,519,865
移入	1,001,800	103.0%	972,250	95.5%	1,018,275	101.9%	999,260	39.4%	2,537,385
計	1,961,005	103.7%	1,891,435	94.4%	2,003,540	98.8%	2,026,860	40.1%	5,057,250

2-1. 外国貿易

図-3 外国貿易(輸出入相手国・地域別)



2-1-1. 輸出

(1) 貨物量

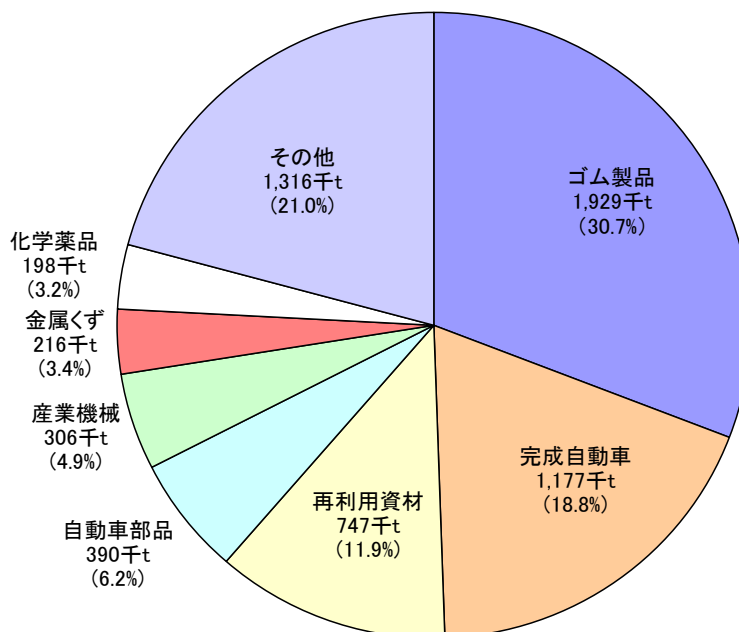
輸出貨物量は6,279千トン(前年比120.1%)であり、外国貿易の37.8%を占めている。

(図-3、表-2 参照)

(2) 品種別

輸出貨物量6,279千トンのうち「ゴム製品」が1,929千トン(構成比30.7%)、「完成自動車」が1,177千トン(同18.8%)、「再利用資材」が747千トン(同11.9%)であった。(図-4・5、表-4 参照)

図-4 輸出 6,279千トン

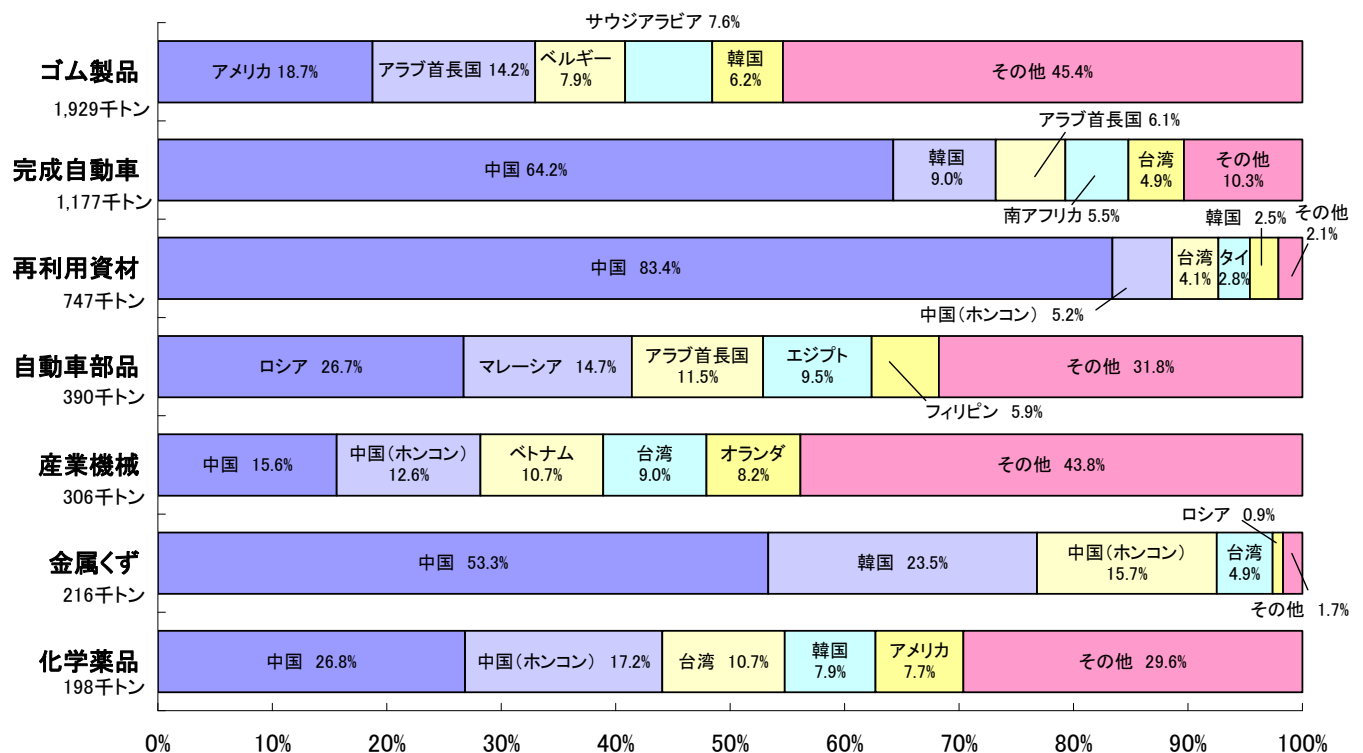


表－4 輸出 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成22年	構成比	平成21年	構成比	同期増減	同期比
1	ゴム製品	1,928,618	30.7%	1,499,295	28.7%	429,323	128.6%
2	完成自動車	1,177,417	18.8%	960,437	18.4%	216,980	122.6%
3	再利用資材	746,649	11.9%	732,826	14.0%	13,823	101.9%
4	自動車部品	390,114	6.2%	206,743	4.0%	183,371	188.7%
5	産業機械	305,588	4.9%	364,922	7.0%	▲ 59,334	83.7%
6	金属くず	216,248	3.4%	155,779	3.0%	60,469	138.8%
7	化学薬品	198,225	3.2%	158,771	3.0%	39,454	124.8%
	上記以外その他	1,315,687	21.0%	1,147,731	22.0%	167,956	114.6%
	合 計	6,278,546	100.0%	5,226,504	100.0%	1,052,042	120.1%

図－5 輸出上位7品種の相手国・地域



(3) 主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、中国が2,001千トン（構成比31.9%）、アメリカが471千トン（同7.5%）、韓国が443千トン（同7.1%）、以下アラブ首長国、台湾と続いている。（図－3、表－5 参照）

表－５ 輸出 国・地域別取扱量（上位10ヵ国・地域）

（単位：トン）

順位	最終船卸国・地域名	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	中国	2,001,295	31.9%	1,814,137	34.7%	187,158	110.3%
2	アメリカ	471,083	7.5%	302,760	5.8%	168,323	155.6%
3	韓国	442,923	7.1%	301,841	5.8%	141,082	146.7%
4	アラブ首長国	403,409	6.4%	412,208	7.9%	▲ 8,799	97.9%
5	台湾	298,303	4.8%	259,099	5.0%	39,204	115.1%
6	中国（ホンコン）	276,017	4.4%	267,133	5.1%	8,884	103.3%
7	ベルギー	182,443	2.9%	111,916	2.1%	70,527	163.0%
8	ドイツ	159,541	2.5%	112,240	2.1%	47,301	142.1%
9	サウジアラビア	157,101	2.5%	166,805	3.2%	▲ 9,704	94.2%
10	ベトナム	140,178	2.2%	156,953	3.0%	▲ 16,775	89.3%
	上記以外その他	1,746,253	27.8%	1,321,412	25.3%	424,841	132.2%
	合計	6,278,546	100.0%	5,226,504	100.0%	1,052,042	120.1%

2-1-2. 輸入

（1）貨物量

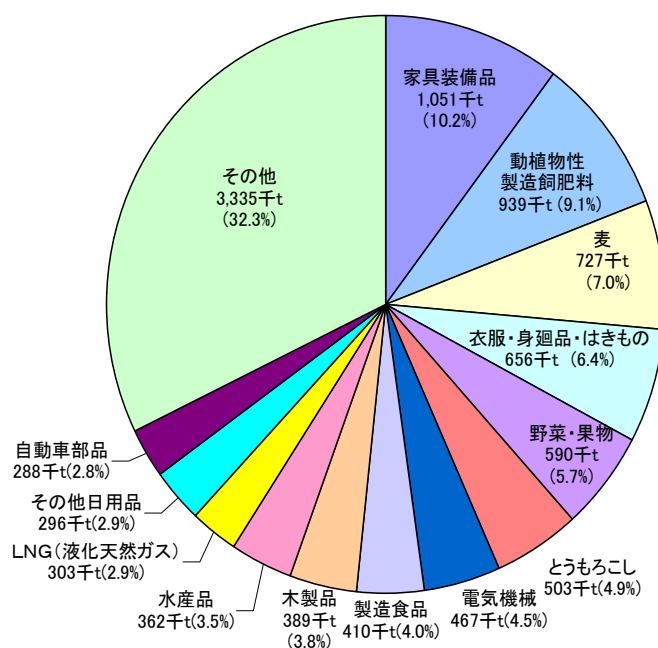
輸入貨物量は10,316千トン（前年比111.1%）であり、外国貿易の62.2%を占めている。

〈図－3、表－2参照〉

（2）品種別

輸入貨物量10,316千トンのうち「家具装備品」が1,051千トン（構成比10.2%）、「動植物性製造飼肥料」が939千トン（同9.1%）、「麦」が727千トン（同7.0%）であった。〈図－6・7、表－6参照〉

図－6 輸入 10,316千トン

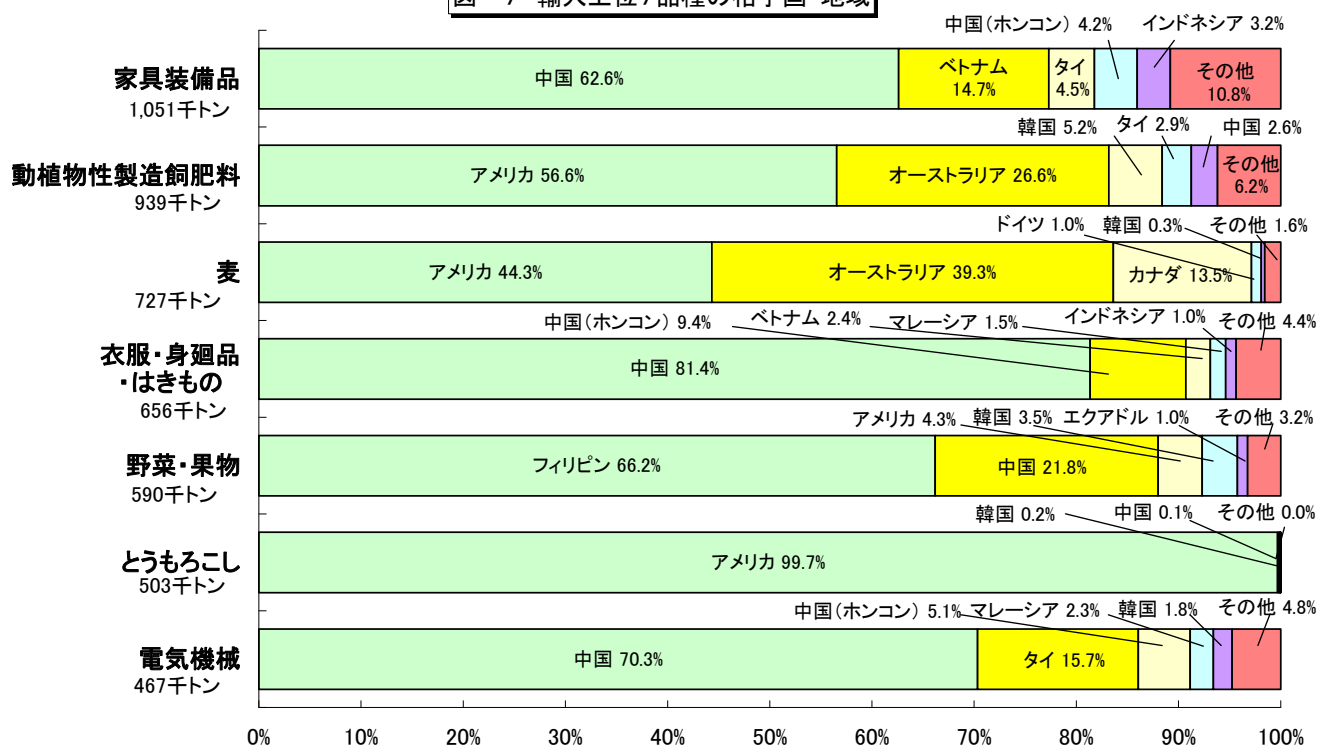


表－6 輸入 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	家具装備品	1,051,006	10.2%	938,473	10.1%	112,533	112.0%
2	動植物性製造飼肥料	939,482	9.1%	836,604	9.0%	102,878	112.3%
3	麦	726,539	7.0%	674,487	7.3%	52,052	107.7%
4	衣服・身廻品・はきもの	655,659	6.4%	537,024	5.8%	118,635	122.1%
5	野菜・果物	589,687	5.7%	502,265	5.4%	87,422	117.4%
6	とうもろこし	503,270	4.9%	486,449	5.2%	16,821	103.5%
7	電気機械	467,491	4.5%	364,051	3.9%	103,440	128.4%
	上記以外その他	5,383,205	52.2%	4,944,149	53.3%	439,056	108.9%
	合 計	10,316,339	100.0%	9,283,502	100.0%	1,032,837	111.1%

図－7 輸入上位7品種の相手国・地域



(3) 主要国・地域別

輸入相手国・地域別では、中国が3,295千トン（構成比31.9%）、アメリカが1,662千トン（同16.1%）、韓国が895千トン（同8.7%）、以下オーストラリア、マレーシアと続いている。（図－3、表－7参照）

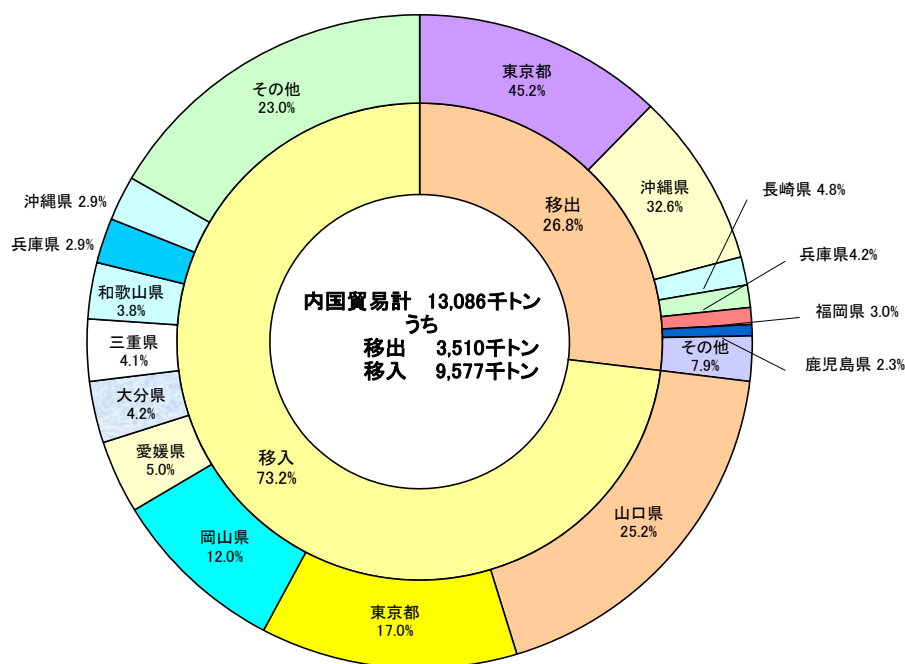
表-7 輸入 国・地域別取扱量（上位10カ国・地域）

（単位：トン）

順位	最終船卸国・地域名	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	中国	3,294,690	31.9%	2,906,843	31.3%	387,847	113.3%
2	アメリカ	1,661,897	16.1%	1,484,819	16.0%	177,078	111.9%
3	韓国	895,237	8.7%	831,919	9.0%	63,318	107.6%
4	オーストラリア	605,055	5.9%	500,468	5.4%	104,587	120.9%
5	マレーシア	547,039	5.3%	516,330	5.6%	30,709	105.9%
6	フィリピン	502,956	4.9%	447,612	4.8%	55,344	112.4%
7	タイ	422,460	4.1%	460,237	5.0%	▲ 37,777	91.8%
8	カナダ	395,390	3.8%	383,769	4.1%	11,621	103.0%
9	インドネシア	331,896	3.2%	317,401	3.4%	14,495	104.6%
10	ベトナム	292,450	2.8%	226,731	2.4%	65,719	129.0%
	上記以外その他	1,367,269	13.3%	1,207,373	13.0%	159,896	113.2%
	合計	10,316,339	100.0%	9,283,502	100.0%	1,032,837	111.1%

2-2. 内国貿易

図-8 内国貿易（移出入相手都道府県別）



※ 図-8・10・12及び表-9・11については、仕出・仕向港に基づく都道府県の集計である。

2-2-1. 移出

(1) 貨物量

移出貨物量は3,510千トン（前年比108.6%）であり、内国貿易の26.8%を占めている。

〈表-2、図-8 参照〉

(2) 品種別

移出貨物量3,510千トンのうち「その他輸送機械」が803千トン（構成比22.9%）、「取合せ品」が651千トン（同18.5%）、「完成自動車」が366千トン（同10.4%）であった。〈図-9・10、表-8 参照〉

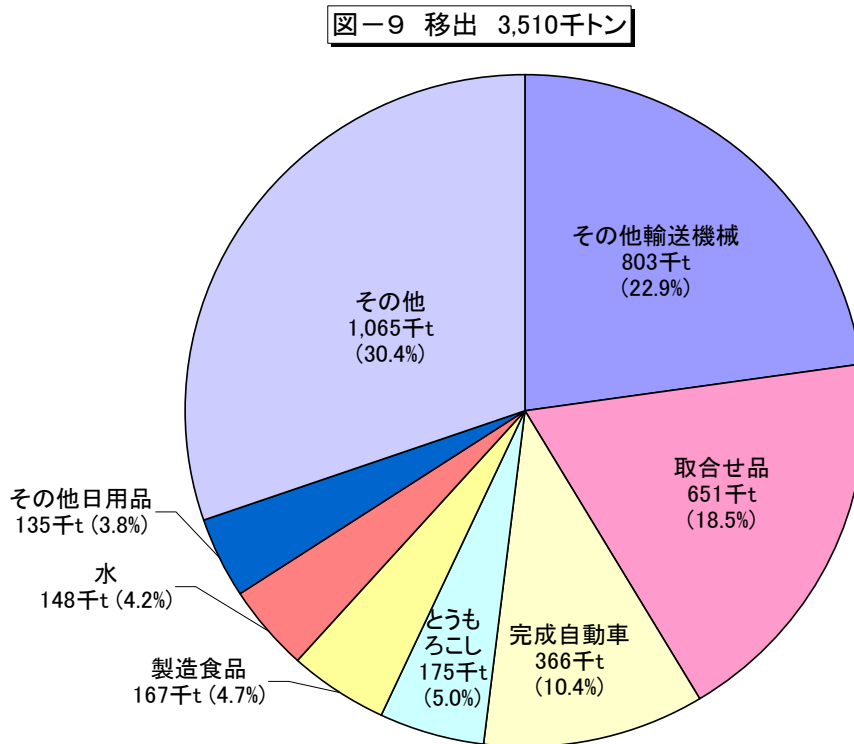
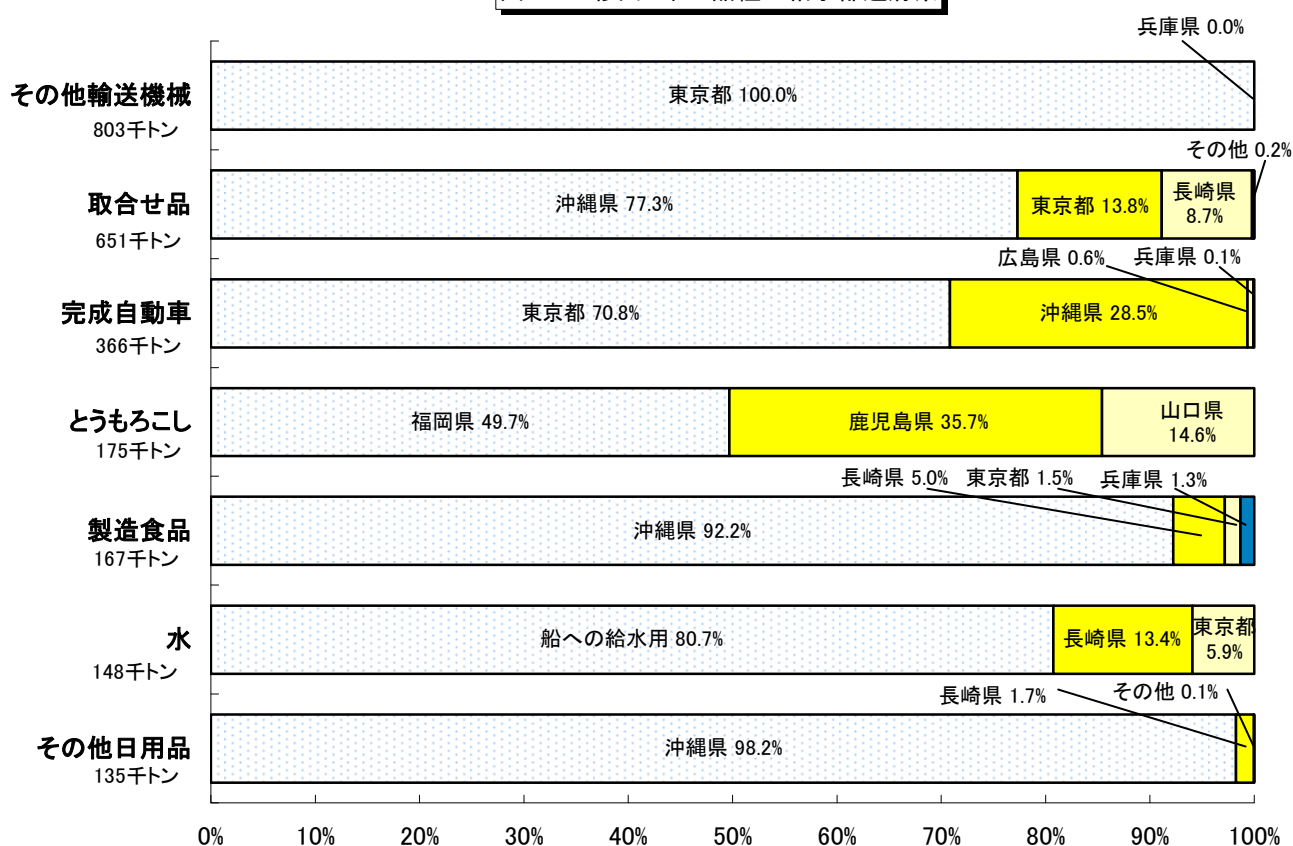


表-8 移出 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	その他輸送機械	802,506	22.9%	666,836	20.6%	135,670	120.3%
2	取合せ品	650,691	18.5%	644,277	19.9%	6,414	101.0%
3	完成自動車	366,249	10.4%	294,362	9.1%	71,887	124.4%
4	とうもろこし	175,261	5.0%	187,389	5.8%	▲ 12,128	93.5%
5	製造食品	166,690	4.7%	181,941	5.6%	▲ 15,251	91.6%
6	水	147,889	4.2%	142,028	4.4%	5,861	104.1%
7	その他日用品	134,941	3.8%	136,293	4.2%	▲ 1,352	99.0%
	上記以外その他	1,065,335	30.4%	977,541	30.3%	87,794	109.0%
	合 計	3,509,562	100.0%	3,230,667	100.0%	278,895	108.6%

図-10 移出上位7品種の相手都道府県



(3) 主要都道府県別

移出相手都道府県別では、東京都が1,586千トン（構成比45.2%）、沖縄県が1,145千トン（同32.6%）、長崎県が169千トン（同4.8%）、以下兵庫県、福岡県内と続いている。（図-8、表-9参照）

表-9 移出 都道府県別取扱量（上位7都道府県）

（単位：トン）

順位	仕向都道府県名	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	東京都	1,586,274	45.2%	1,343,456	41.6%	242,818	118.1%
2	沖縄県	1,145,116	32.6%	1,153,356	35.7%	▲ 8,240	99.3%
3	長崎県	169,403	4.8%	164,165	5.1%	5,238	103.2%
4	兵庫県	148,115	4.2%	144,943	4.5%	3,172	102.2%
5	福岡県	105,752	3.0%	126,361	3.9%	▲ 20,609	83.7%
6	鹿児島県	81,196	2.3%	64,901	2.0%	16,295	125.1%
7	大阪府	28,328	0.8%	25,295	0.8%	3,033	112.0%
	上記以外その他	245,378	7.0%	208,190	6.4%	37,188	117.9%
	合計	3,509,562	100.0%	3,230,667	100.0%	278,895	108.6%

2-2-2. 移入

(1) 貨物量

移入貨物量は9,577千トン（前年比101.3%）であり、内国貿易の73.2%を占めている。

（表-2、図-8 参照）

(2) 品種別

移入貨物量9,577千トンのうち「石油製品」が3,903千トン（構成比40.8%）、「完成自動車」が1,440千トン（同15.0%）、「砂利・砂」が1,098千トン（同11.5%）であった。（図-11・12、表-10 参照）

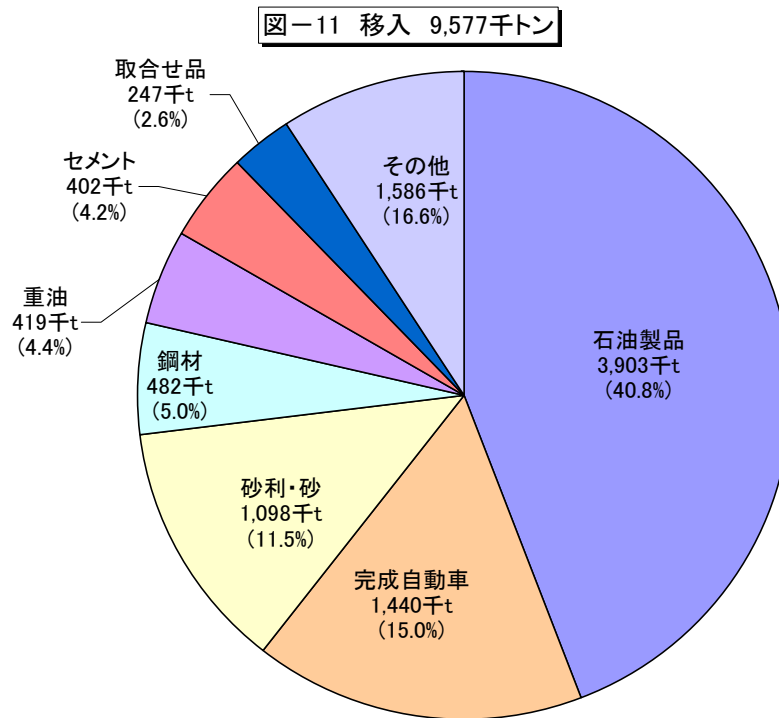
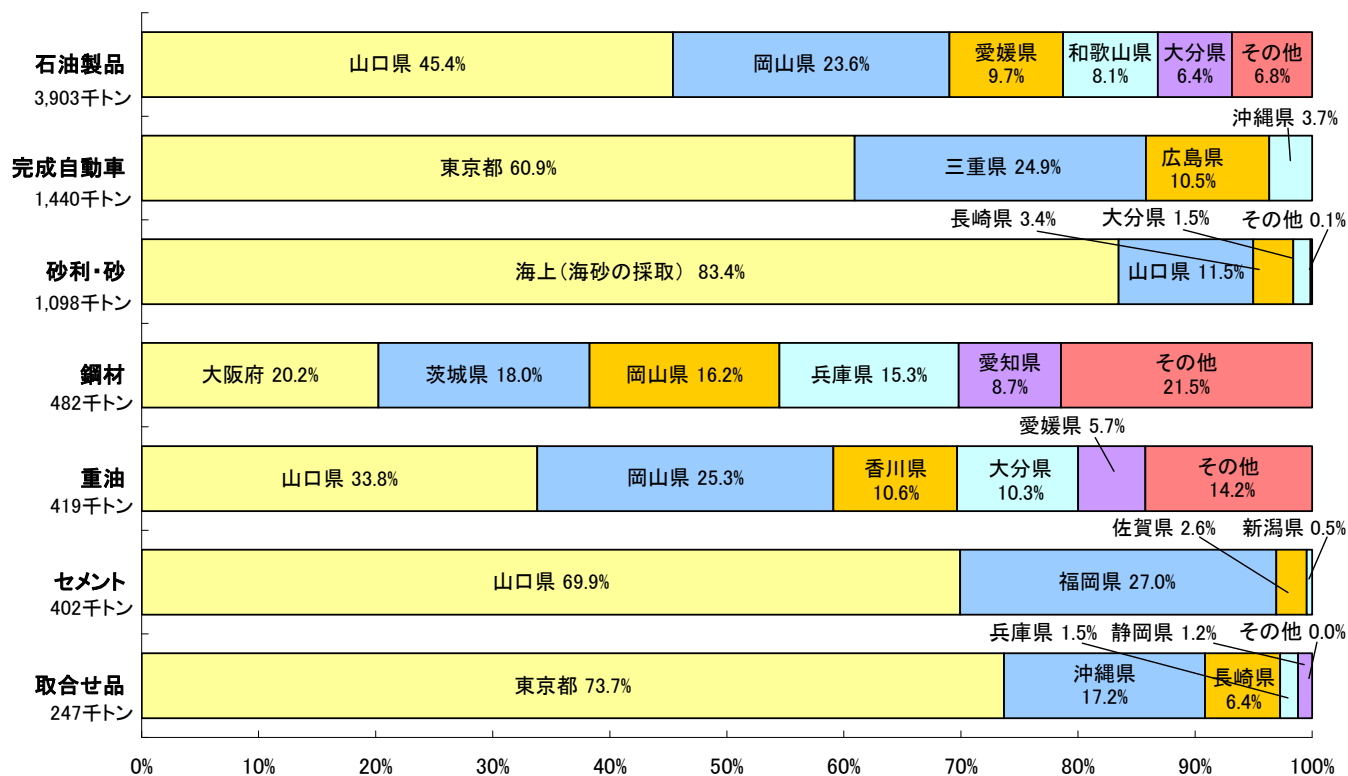


表-10 移入 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	石油製品	3,902,618	40.8%	3,886,184	41.1%	16,434	100.4%
2	完成自動車	1,439,623	15.0%	1,202,619	12.7%	237,004	119.7%
3	砂利・砂	1,097,674	11.5%	1,189,051	12.6%	▲ 91,377	92.3%
4	鋼材	482,185	5.0%	450,835	4.8%	31,350	107.0%
5	重油	419,380	4.4%	428,673	4.5%	▲ 9,293	97.8%
6	セメント	401,803	4.2%	337,611	3.6%	64,192	119.0%
7	取合せ品	247,213	2.6%	237,868	2.5%	9,345	103.9%
	上記以外その他	1,586,302	16.6%	1,717,334	18.2%	▲ 131,032	92.4%
	合 計	9,576,798	100.0%	9,450,175	100.0%	126,623	101.3%

図-12 移入上位7品種の相手都道府県



(3) 主要都道府県別

移入相手都道府県別では、山口県が2,409千トン（構成比25.2%）、東京都が1,625千トン（同17.0%）、岡山県が1,148千トン（同12.0%）、以下愛媛県、大分県と続いている。（図-8、表-11参照）

表-11 移入 都道府県別取扱量（上位7都道府県）

（単位：トン）

順位	仕向都道府県名	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	山口県	2,409,205	25.2%	2,462,550	26.1%	▲ 53,345	97.8%
2	東京都	1,624,592	17.0%	1,357,167	14.4%	▲ 267,425	119.7%
3	岡山県	1,148,450	12.0%	1,057,234	11.2%	▲ 91,216	108.6%
4	愛媛県	481,205	5.0%	395,287	4.2%	▲ 85,918	121.7%
5	大分県	398,009	4.2%	514,504	5.4%	▲ 116,495	77.4%
6	三重県	396,441	4.1%	477,075	5.0%	▲ 80,634	83.1%
7	和歌山県	360,318	3.8%	378,158	4.0%	▲ 17,840	95.3%
	上記以外その他	2,758,578	28.8%	2,808,200	29.7%	▲ 49,622	98.2%
	合計	9,576,798	100.0%	9,450,175	100.0%	▲ 126,623	101.3%

3. 国際海上コンテナ取扱個数

国際海上コンテナ取扱個数は、748,580 TEU(前年比 113.4%)であった。なお、ダイレクトコンテナは719,373 TEU(同 114.3%)、フィーダーコンテナは29,207 TEU(同 94.0%)であった。

〈図-13、表-12 参照〉

図-13 国際海上コンテナ取扱個数の推移

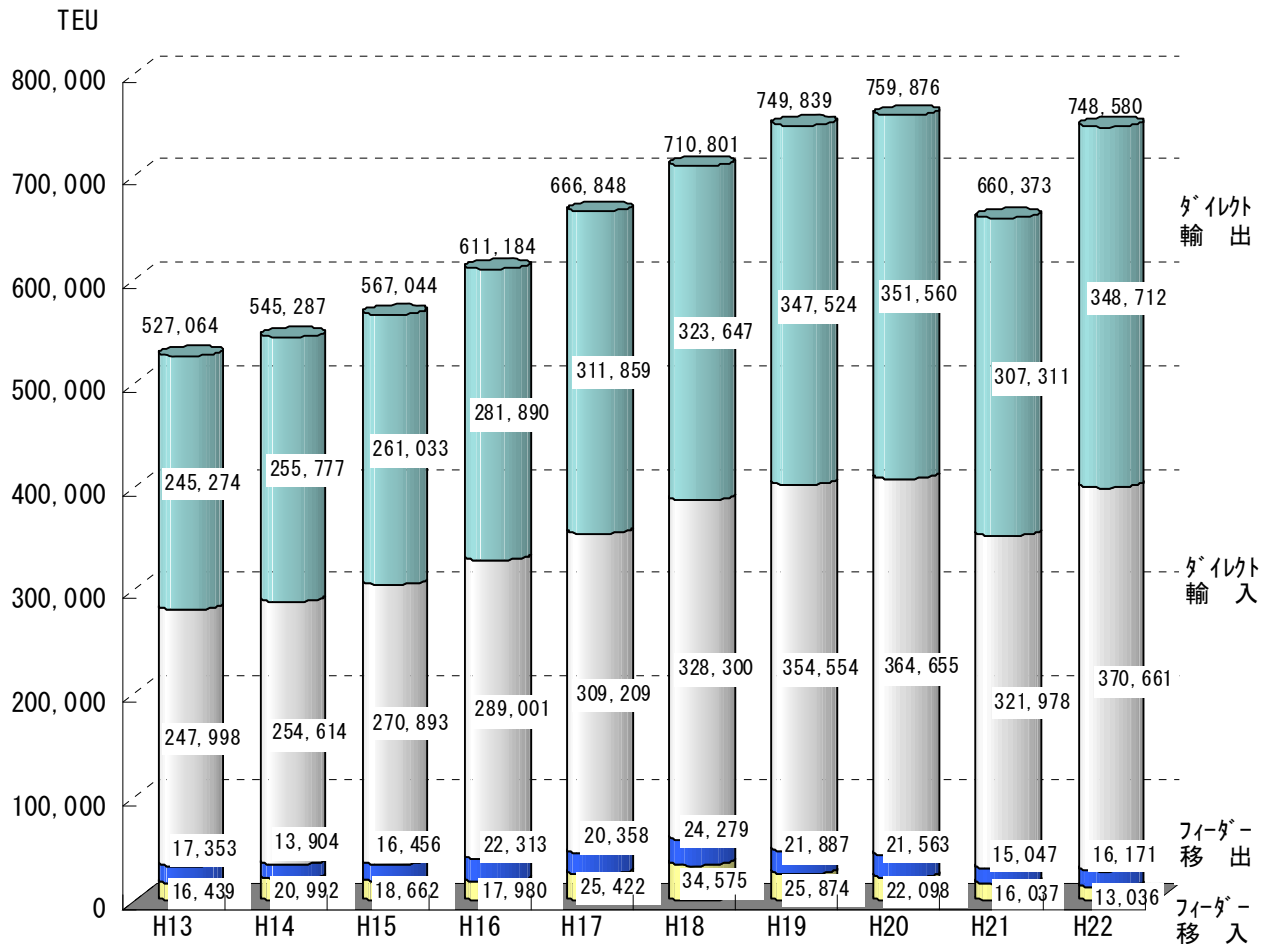


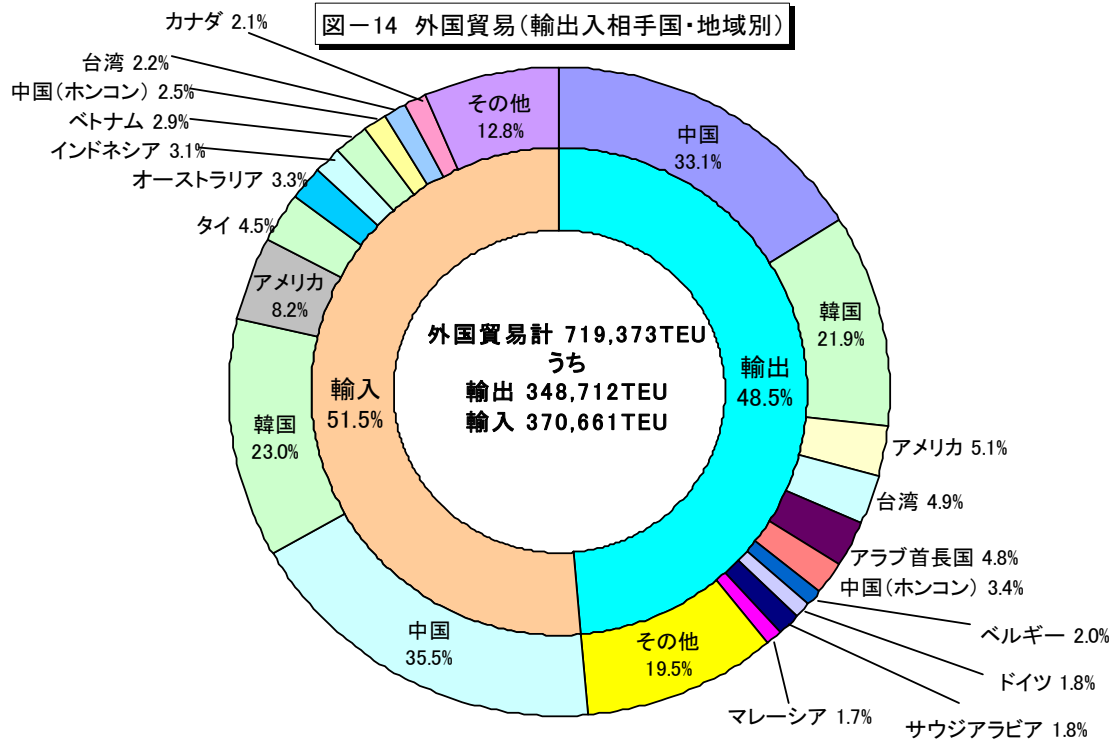
表-12 国際海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分	平成22年		平成21年		平成20年		平成19年		平成18年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	
外国貿易 (ダイレクト)	輸出	348,712	113.5%	307,311	87.4%	351,560	101.2%	347,524	107.4%	323,647
	輸入	370,661	115.1%	321,978	88.3%	364,655	102.8%	354,554	108.0%	328,300
	計	719,373	114.3%	629,289	87.9%	716,215	102.0%	702,078	107.7%	651,947
内国貿易 (フィーダー)	移出	16,171	107.5%	15,047	69.8%	21,563	98.5%	21,887	90.1%	24,279
	移入	13,036	81.3%	16,037	72.6%	22,098	85.4%	25,874	74.8%	34,575
	計	29,207	94.0%	31,084	71.2%	43,661	91.4%	47,761	81.2%	58,854
総数	輸移出	364,883	113.2%	322,358	86.4%	373,123	101.0%	369,411	106.2%	347,926
	輸移入	383,697	113.5%	338,016	87.4%	386,753	101.7%	380,428	104.8%	362,875
	計	748,580	113.4%	660,373	86.9%	759,876	101.3%	749,839	105.5%	710,801

※ 実入コンテナと空コンテナの合計値。

3-1. 外国貿易（ダイレクト）



3-1-1. 輸出

(1) コンテナ取扱個数

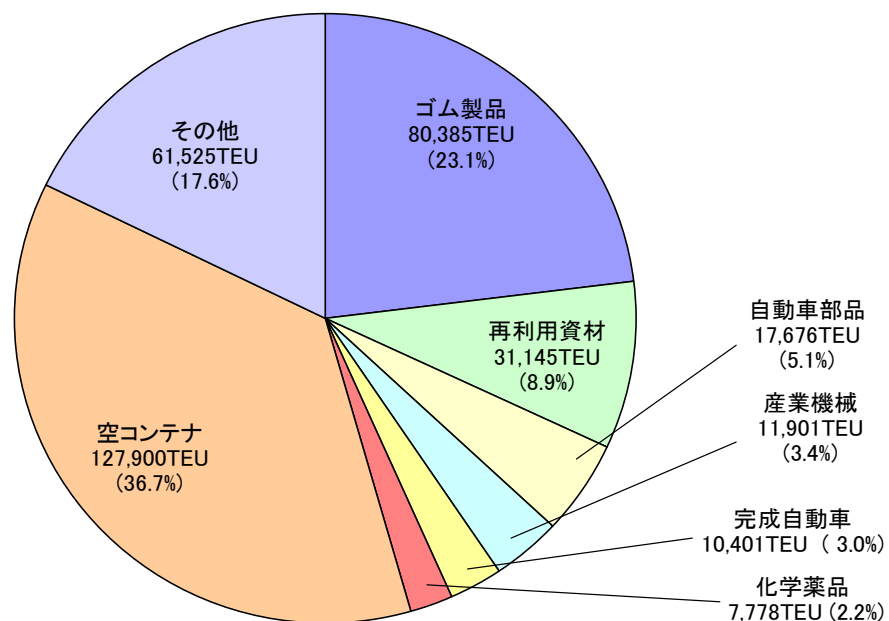
輸出コンテナ取扱個数は 348,712 TEU（前年比 113.5%）であり、外国貿易の 48.5%を占めている。

〈図-14、表-12 参照〉

(2) 品種別

輸出コンテナ取扱個数 348,712 TEUのうち「ゴム製品」が 80,385 TEU（構成比 23.1%）、「再利用資材」が 31,145 TEU（同 8.9%）、「自動車部品」が 17,676 TEU（同 5.1%）であった。〈図-15・表-13 参照〉

図-15 輸出 348,712TEU

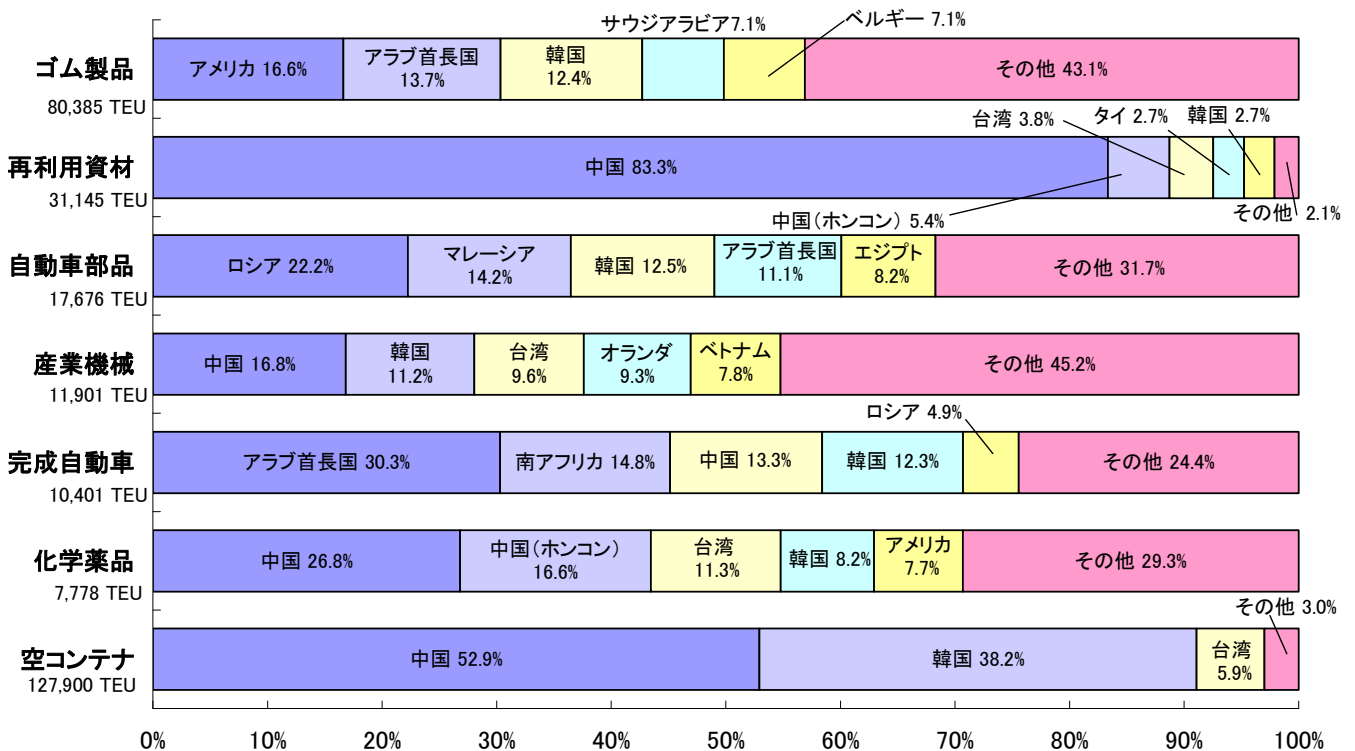


表－13 輸出 品種別取扱量（上位6品種）

（単位：TEU）

順位	品 種	平成22年	構成比	平成21年	構成比	同期増減	同期比
1	ゴム製品	80,385	23.1%	65,848	21.4%	14,537	122.1%
2	再利用資材	31,145	8.9%	29,942	9.7%	1,203	104.0%
3	自動車部品	17,676	5.1%	9,104	3.0%	8,573	194.2%
4	産業機械	11,901	3.4%	10,787	3.5%	1,114	110.3%
5	完成自動車	10,401	3.0%	9,404	3.1%	997	110.6%
6	化学薬品	7,778	2.2%	6,056	2.0%	1,722	128.4%
	空コンテナ	127,900	36.7%	123,286	40.1%	4,614	103.7%
	上記以外その他	61,525	17.6%	52,884	17.2%	8,641	116.3%
	合 計	348,712	100.0%	307,311	100.0%	41,401	113.5%

図－16 輸出上位6品種及び空コンテナの相手国・地域



(3) 主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、中国が115,294 TEU（構成比 33.1%）、韓国が76,515 TEU（同 21.9%）、アメリカが17,835 TEU（同 5.1%）、以下台湾、アラブ首長国と続いている。〈表－14 参照〉

表－14 輸出 国・地域別取扱量（上位10ヵ国・地域）

（単位：TEU）

順位	最終船卸国・地域名	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	中国	115,294	33.1%	103,581	33.7%	11,713	111.3%
2	韓国	76,515	21.9%	74,293	24.2%	2,223	103.0%
3	アメリカ	17,835	5.1%	11,576	3.8%	6,259	154.1%
4	台湾	17,201	4.9%	15,520	5.1%	1,681	110.8%
5	アラブ首長国	16,656	4.8%	16,116	5.2%	540	103.4%
6	中国（ホンコン）	11,876	3.4%	12,037	3.9%	▲ 161	98.7%
7	ベルギー	6,895	2.0%	4,381	1.4%	2,514	157.4%
8	ドイツ	6,370	1.8%	4,306	1.4%	2,064	147.9%
9	サウジアラビア	6,127	1.8%	6,261	2.0%	▲ 134	97.9%
10	マレーシア	6,081	1.7%	6,823	2.2%	▲ 742	89.1%
	上記以外その他	67,862	19.5%	52,417	17.1%	15,445	129.5%
	合計	348,712	100.0%	307,311	100.0%	41,401	113.5%

3-1-2. 輸入

(1) コンテナ取扱個数

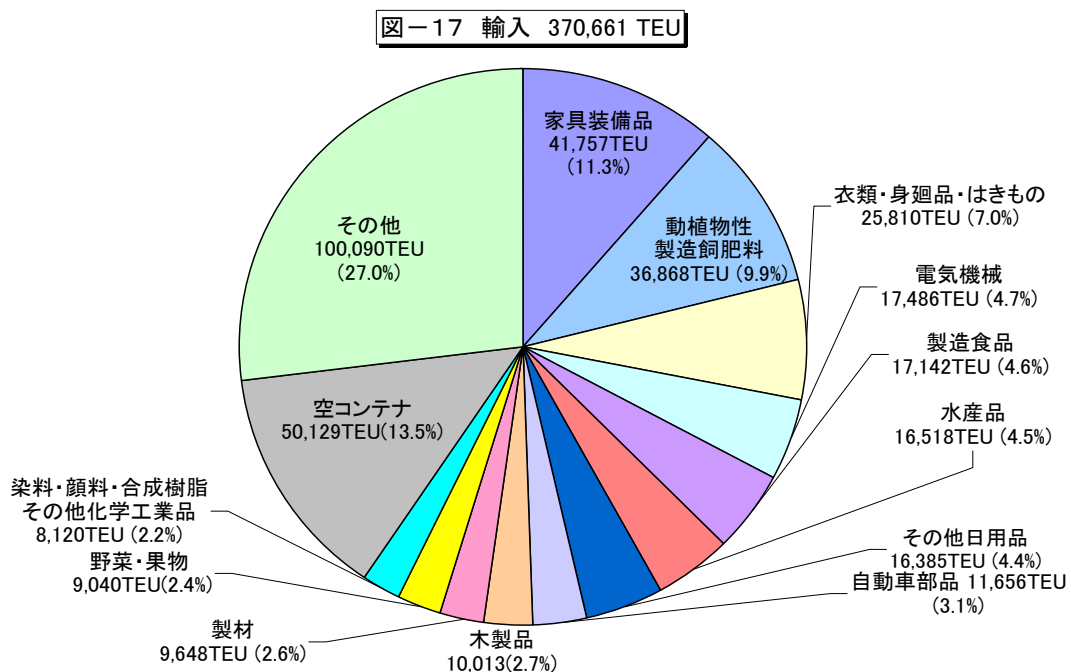
輸入コンテナ取扱個数は370,661 TEU（前年比 115.1%）であり、外国貿易の 51.5%を占めている。

〈図－13・14、表－12 参照〉

(2) 品種別

輸入コンテナ取扱個数 370,661 TEU のうち「家具装備品」が 41,757 TEU（構成比 11.3%）、「動植物性製造飼肥料」が 36,868 TEU（同 9.9%）、「衣類・身廻品・はきもの」が 25,810 TEU（同 7.0%）であった。

〈図－17、表－15 参照〉

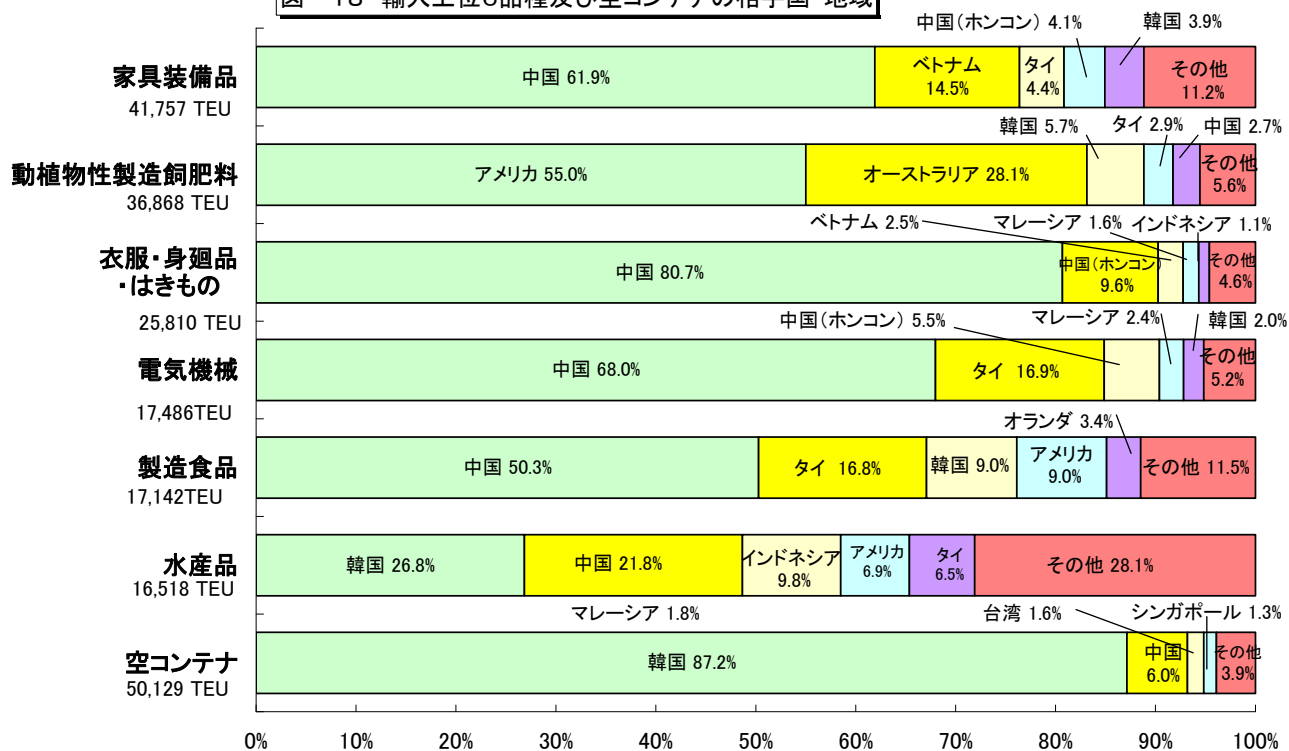


表－15 輸入 品種別取扱量（上位6品種）

（単位：TEU）

順位	品 種	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	家具装備品	41,757	11.3%	37,111	11.5%	4,646	112.5%
2	動植物性製造飼肥料	36,868	9.9%	32,800	10.2%	4,068	112.4%
3	衣服・身廻品・はきもの	25,810	7.0%	21,669	6.7%	4,141	119.1%
4	電気機械	17,486	4.7%	14,370	4.5%	3,116	121.7%
5	製造食品	17,142	4.6%	13,981	4.3%	3,160	122.6%
6	水産品	16,518	4.5%	15,308	4.8%	1,209	107.9%
	空コンテナ	50,129	13.5%	36,361	11.3%	13,767	137.9%
	上記以外その他	164,952	44.5%	150,377	46.7%	14,575	109.7%
	合 計	370,661	100.0%	321,978	100.0%	48,683	115.1%

図－18 輸入上位6品種及び空コンテナの相手国・地域



(3) 主要国・地域別

輸入相手国・地域別では、中国が 131,581 TEU（構成比 35.5%）、韓国が 85,359 TEU（同 23.0%）、アメリカが 30,501 TEU（同 8.2%）、以下タイ、オーストラリアと続いている。（図－14、表－16 参照）

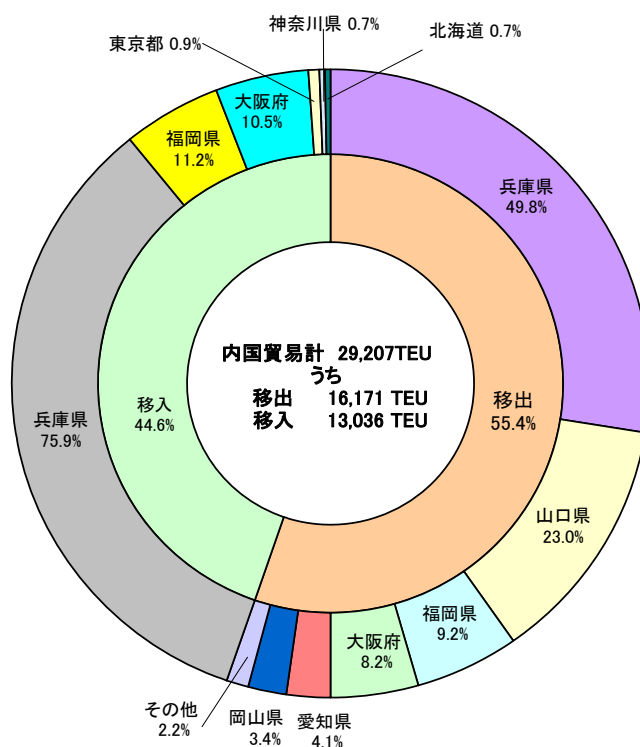
表－１６ 輸入 国・地域別取扱量（上位10ヵ国・地域）

（単位：TEU）

順位	最初船積国・地域名	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	中国	131,581	35.5%	119,220	37.0%	12,360	110.4%
2	韓国	85,359	23.0%	66,642	20.7%	18,717	128.1%
3	アメリカ	30,501	8.2%	23,552	7.3%	6,949	129.5%
4	タイ	16,610	4.5%	16,725	5.2%	▲ 115	99.3%
5	オーストラリア	12,093	3.3%	10,824	3.4%	1,269	111.7%
6	インドネシア	11,335	3.1%	11,133	3.5%	202	101.8%
7	ベトナム	10,821	2.9%	9,050	2.8%	1,771	119.6%
8	中国（ホンコン）	9,089	2.5%	10,456	3.2%	▲ 1,367	86.9%
9	台湾	8,276	2.2%	6,878	2.1%	1,398	120.3%
10	カナダ	7,659	2.1%	6,593	2.0%	1,066	116.2%
	上記以外その他	47,337	12.8%	40,905	12.7%	6,432	115.7%
	合 計	370,661	100.0%	321,978	100.0%	48,683	115.1%

3-2. 内国貿易（フィーダー）

図－19 内国貿易（移出入相手都道府県別）



※ 図－19・21 及び表－18 については、仕出・仕向港に基づく都道府県の集計である。

3-2-1. 移出

(1) コンテナ取扱個数

移出コンテナ取扱個数は16,171 TEU（前年比 107.5%）であり、内国貿易の 55.4%を占めている。

〈表-12、図-19参照〉

(2) 品種別

移出コンテナ取扱個数 16,171 TEUのうち「ゴム製品」が 2,233 TEU(構成比 13.8%)、「二輪自動車」が 1,370 TEU (同 8.5%)、「産業機械」が 600 TEU (同 3.7%) であった。〈図-20、表-17 参照〉

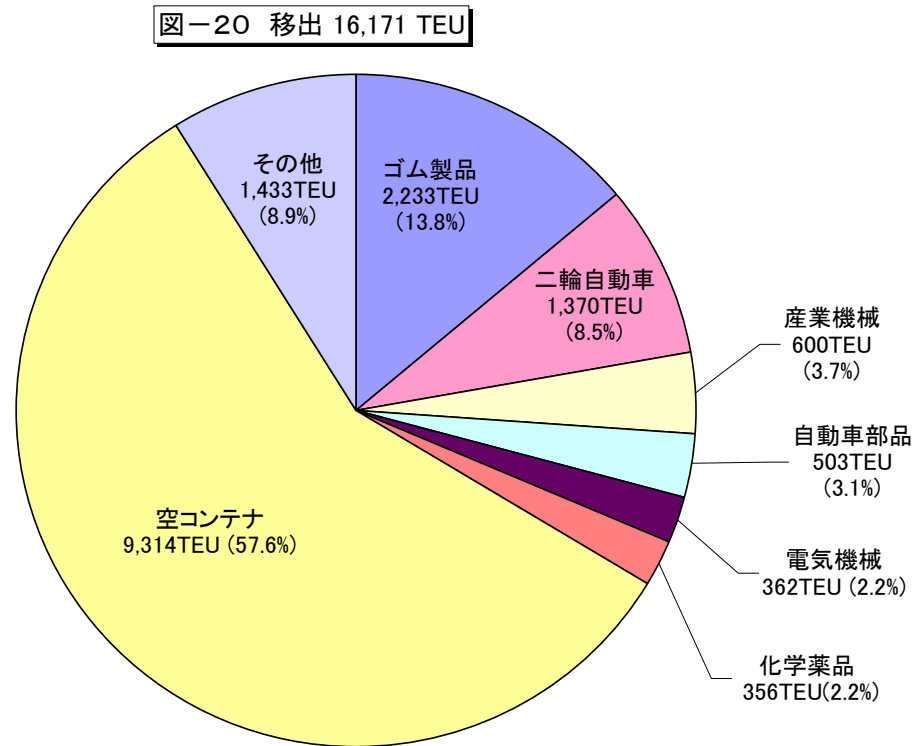
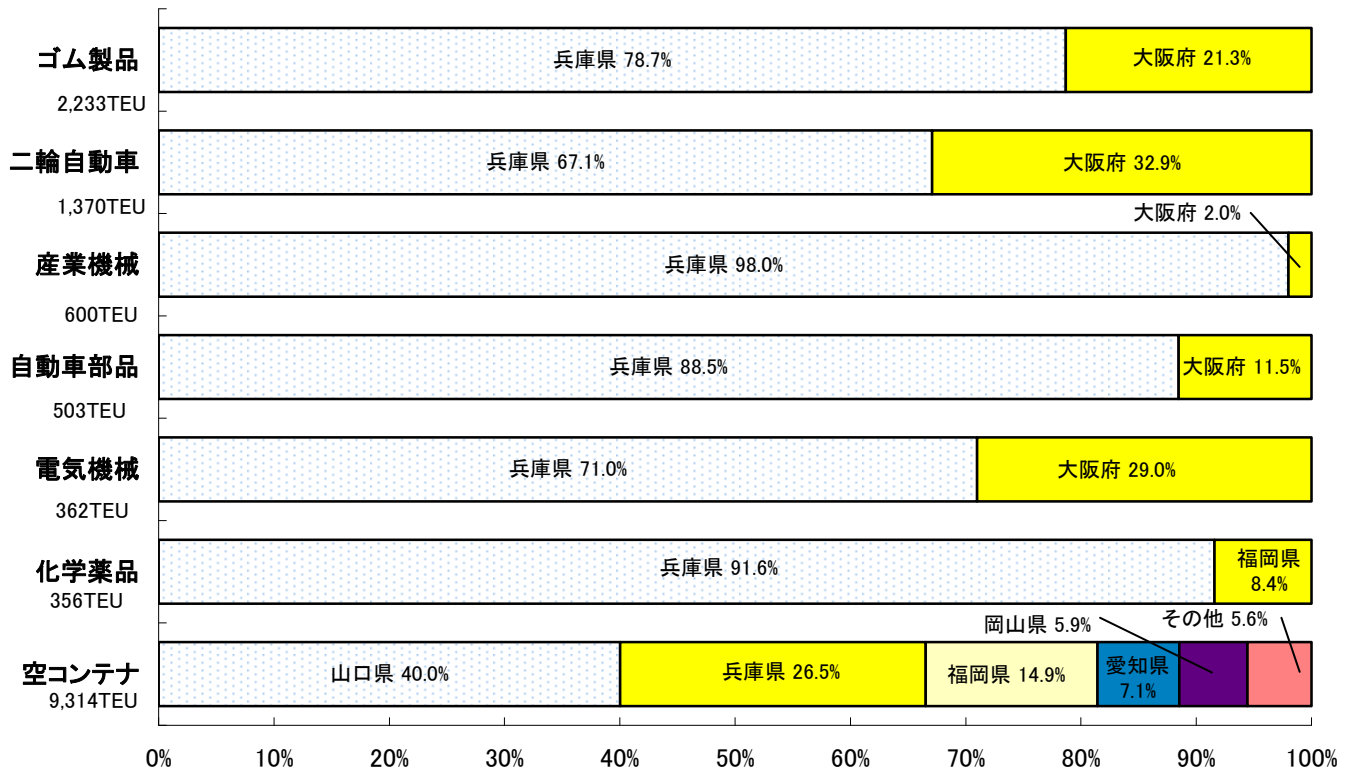


表-17 移出 品種別取扱量（上位6品種）

（単位：TEU）

順位	品 種	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	ゴム製品	2,233	13.8%	1,639	10.9%	594	136.2%
2	二輪自動車	1,370	8.5%	1,529	10.2%	▲ 159	89.6%
3	産業機械	600	3.7%	486	3.2%	114	123.5%
4	自動車部品	503	3.1%	437	2.9%	66	115.1%
5	電気機械	362	2.2%	282	1.9%	80	128.4%
6	化学薬品	356	2.2%	229	1.5%	127	155.5%
	空コンテナ	9,314	57.6%	8,854	58.8%	460	105.2%
	上記以外その他	1,433	8.9%	1,591	10.6%	▲ 158	90.1%
	合 計	16,171	100.0%	15,047	100.0%	1,124	107.5%

図-21 移出上位6品種及び空コンテナの相手都道府県



(3) 主要都道府県別

移出相手都道府県別では、兵庫県が 8,059 TEU (構成比 49.8%)、山口県が 3,727 TEU (同 23.0%)、福岡県が 1,492 TEU (同 9.2%)、以下大阪府、愛知県と続いている。(図-19、表-18 参照)

表-18 移出 都道府県別取扱量 (上位7都道府県)

(単位: TEU)

順位	仕向都道府県名	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	兵庫県	8,059	49.8%	6,567	43.6%	1,492	122.7%
2	山口県	3,727	23.0%	4,584	30.5%	▲ 857	81.3%
3	福岡県	1,492	9.2%	1,431	9.5%	61	104.3%
4	大阪府	1,322	8.2%	1,105	7.3%	217	119.6%
5	愛知県	660	4.1%	532	3.5%	128	124.1%
6	岡山県	549	3.4%	0	0.0%	549	#DIV/0!
7	広島県	130	0.8%	282	1.9%	▲ 152	46.1%
	上記以外その他	232	1.4%	546	3.6%	▲ 314	42.5%
	合計	16,171	100.0%	15,047	100.0%	1,124	107.5%

3-2-2. 移入

(1) コンテナ取扱個数

移入コンテナ取扱個数は 13,036 TEU（前年比 81.3%）であり、内国貿易の 44.6%を占めている。

〈表-12、図-19 参照〉

(2) 品種別

移入コンテナ取扱個数 13,036 TEUのうち「動植物性製造飼肥」が1,159 TEU（構成比 8.9%）、「製造食品」が984 TEU（同 7.5%）、「ゴム製品」が655 TEU（同 5.0%）であった。〈図-22・23、表-19 参照〉

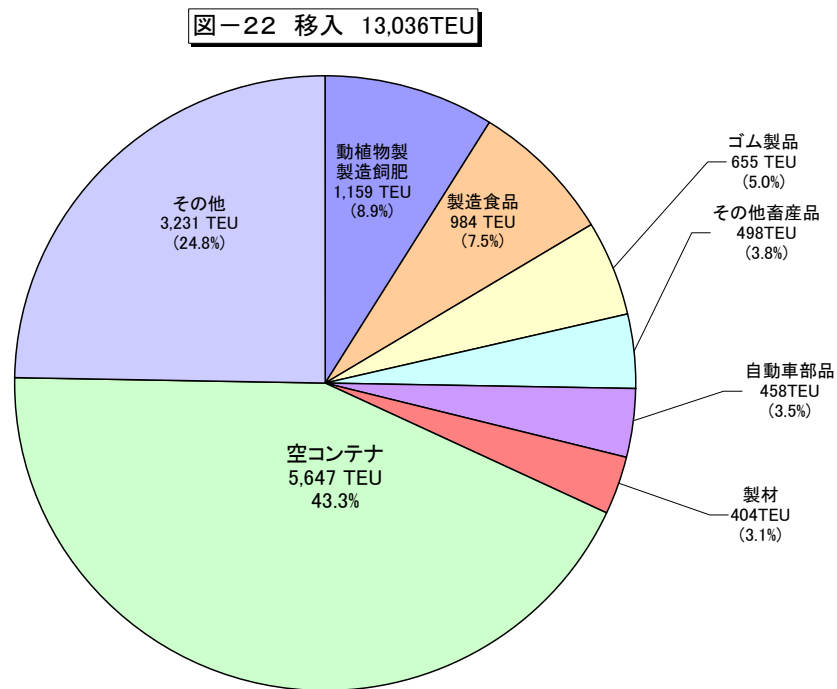
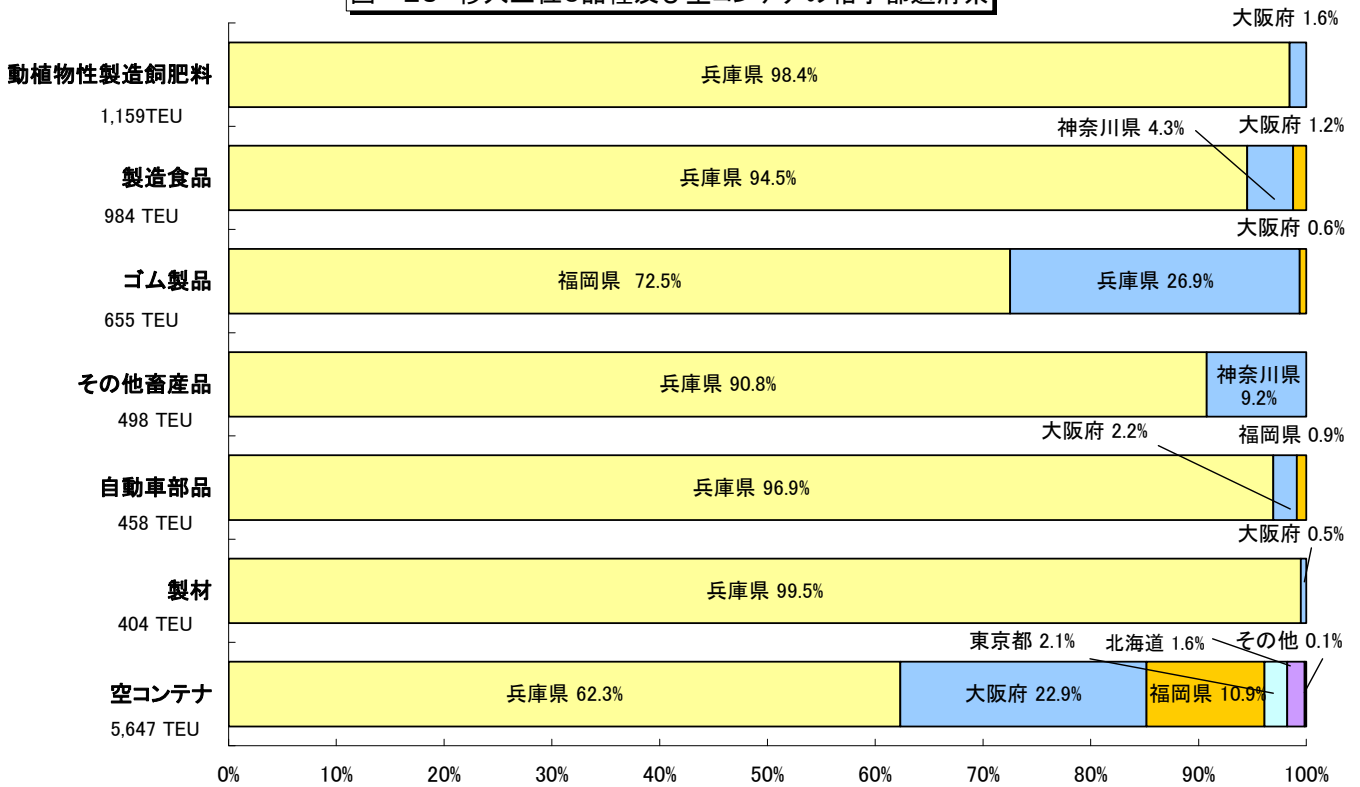


表-19 移入 品種別取扱量（上位6品種）

（単位：TEU）

順位	品 種	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	動植物性製造飼肥料	1,159	8.9%	2,705	16.9%	▲ 1,546	42.8%
2	製造食品	984	7.5%	1,605	10.0%	▲ 621	61.3%
3	ゴム製品	655	5.0%	14	0.1%	▲ 641	4678.6%
4	その他畜産品	498	3.8%	631	3.9%	▲ 133	78.9%
5	自動車部品	458	3.5%	709	4.4%	▲ 251	64.6%
6	製材	404	3.1%	778	4.9%	▲ 374	51.9%
	空コンテナ	5,647	43.3%	5,866	36.6%	▲ 219	96.3%
	上記以外その他	3,231	24.8%	3,729	23.3%	▲ 498	86.6%
	合 計	13,036	100.0%	16,037	100.0%	▲ 3,001	81.3%

図-23 移入上位6品種及び空コンテナの相手都道府県



(3) 主要都道府県別

移入相手都道府県別では、兵庫県が 9,891 TEU (構成比 75.9%)、福岡県が 1,464 (同 11.2%)、大阪府が 1,371 TEU (同 10.5%)、以下東京都、神奈川県と続いている。〈図-19、表-20 参照〉

表-20 移入 都道府県別取扱量 (上位7都道府県)

(単位: TEU)

順位	仕向都道府県名	平成22年	構成比	平成21年	構成比	増減	前年比
1	兵庫県	9,891	75.9%	10,643	66.4%	▲ 752	92.9%
2	福岡県	1,464	11.2%	1,412	8.8%	52	103.7%
3	大阪府	1,371	10.5%	3,066	19.1%	▲ 1,695	44.7%
4	東京都	120	0.9%	0	0.0%	120	-
5	神奈川県	91	0.7%	302	1.9%	▲ 211	30.1%
6	北海道	91	0.7%	0	0.0%	91	-
7	広島県	5	0.0%	0	0.0%	5	-
	上記以外その他	3	0.0%	614	3.8%	▲ 611	0.5%
	合計	13,036	100.0%	16,037	100.0%	▲ 3,001	81.3%

4. 国内海上コンテナ取扱個数

国内海上コンテナ取扱個数は 56,705 TEU（前年比 90.8%）であった。なお、移出コンテナが 33,445 TEU（同 90.7%）、移入コンテナが 23,259 TEU（同 90.9%）であった。

〈図-24、表-21 参照〉

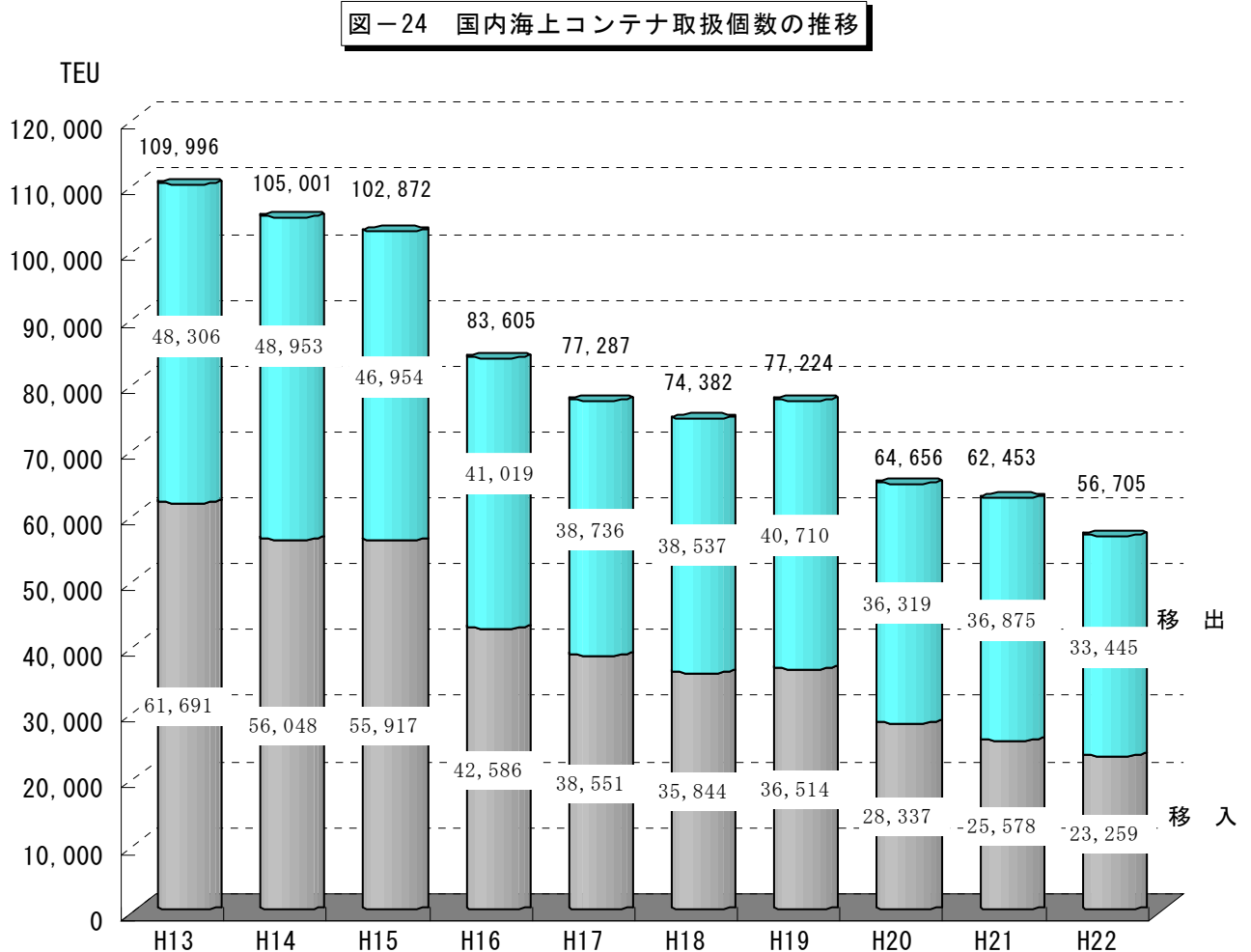


表-21 国内海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分	平成22年		平成21年		平成20年		平成19年		平成18年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	
内国貿易	移出	33,445	90.7%	36,875	101.5%	36,319	89.2%	40,710	105.6%	38,537
	移入	23,259	90.9%	25,578	90.3%	28,337	77.6%	36,514	101.9%	35,844
	計	56,705	90.8%	62,453	96.6%	64,656	83.7%	77,224	103.8%	74,382

※ 実入コンテナと空コンテナの合計値。

5. 船舶乗降人員

船舶乗降人員は、外国航路が 87.3 万人（前年比 137.2%）、内国航路は 112.1 万人（同 100.9%）となり、外内航あわせて 199.4 万人（同 114.1%）であった。（図-25、表-22 参照）

図-25 船舶乗降人員の推移

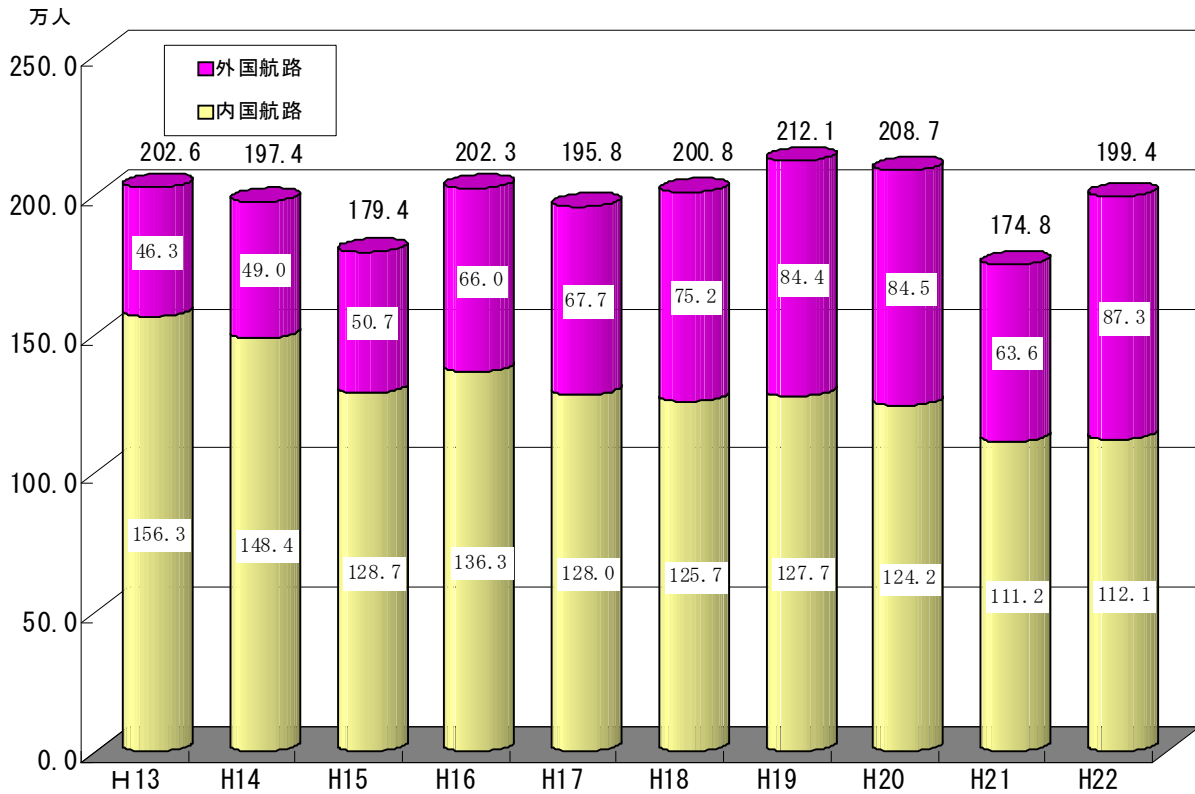


表-22 船舶乗降人員の推移

(単位：人)

区分	平成22年		平成21年		平成20年		平成19年		平成18年	
	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	
外国航路	乗込人員	437,139	137.6%	317,794	75.0%	423,957	100.7%	420,840	111.9%	376,251
	上陸人員	435,753	136.8%	318,475	75.6%	421,274	99.6%	422,814	112.6%	375,437
	計	872,892	137.2%	636,269	75.3%	845,231	100.2%	843,654	112.2%	751,688
内国航路	乗込人員	577,151	100.8%	572,308	89.3%	640,823	97.6%	656,296	101.9%	643,763
	上陸人員	544,097	100.9%	539,468	89.8%	601,077	96.8%	621,143	101.4%	612,814
	計	1,121,248	100.9%	1,111,776	89.5%	1,241,900	97.2%	1,277,439	101.7%	1,256,577
総計	乗込人員	1,014,290	114.0%	890,102	83.6%	1,064,780	98.9%	1,077,136	105.6%	1,020,014
	上陸人員	979,850	114.2%	857,943	83.9%	1,022,351	97.9%	1,043,957	105.6%	988,251
	計	1,994,140	114.1%	1,748,045	83.8%	2,087,131	98.4%	2,121,093	105.6%	2,008,265

